

循環器内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	カテーテルアブレーション全国症例登録研究[J-AB 2022]
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	循環器内科
研究責任者	(職名)教授 (氏名)天野哲也
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	研究代表機関 一般社団法人 日本不整脈心電学会 〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-24 KYONI BLDG. 4 階 TEL 03-6261-7351 研究代表者 山根禎一 (カテーテルアブレーション委員会 委員長、東京慈恵会医科大学 循環器内科 教授)
研究の意義・目的	全国のカテーテルアブレーション治療実施医療機関からカテーテルアブレーション治療に関する情報を収集し、日本におけるカテーテルアブレーション治療の現状を把握し、不整脈診療におけるカテーテルアブレーション治療の有効性・有益性・安全性およびリスクを明らかにすることを目的としています。
対象となる患者さん	2022年1月1日以降に、当院でカテーテルアブレーション治療を受けられた方
研究の方法	カテーテルアブレーション治療が実施された患者を登録対象とし、診療目的で収集された既存情報のみを利用して、データの登録を行います。
研究期間	研究実施承認日 ~ 2030年3月31日(予定)
研究に用いる試料・情報	情報：性別、年齢、身長、体重、症状、不整脈診断名、不整脈の原因、血液検査、心臓超音波検査、カテーテルアブレーション手術日とカテーテルアブレーション手術方法、合併症、術後結果、術後合併症、退院時情報(退院日・退院時転帰)、手術1年後の生存の有無、不整脈再発の有無等
外部への試料・情報の提供	・提供先の研究機関 J-AB データセンター：国立循環器病研究センター OIC 情報利用促進部 ・提供方法 本研究で収集した情報を、機密性や安全性の措置が講じられたクラウド型の臨床情報収集システムに入力し、全国規模で行われている「J-AB

	2022」へ登録します。提供する際は、個人を特定できる情報は記載せず、個人が特定できないように配慮します。
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2030年3月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。但し、対応表が廃棄された場合、既に解析が行われた場合や結果を公表した場合など、当該研究対象者のデータを削除できない場合があります。
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部 内科学講座 (循環器内科学) 担当者:(職名)教授(特任) (氏名)鈴木靖司 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 23490)